
迷走

クノウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

迷走

【Nコード】

N1810A

【作者名】

クノウ

【あらすじ】

最終兵器彼女のゆかりサイドのストーリー。

「パン!」「パンツ!」

胸にあるのは後悔だった。他には怒り、憎しみ、孤独感といった負の感情

なんてつまらない喧嘩をしたんだろう? それらの感情は、他でもない私自身に向けられたものだ

でも――

これで楽になれる。そう感じていた…

「……これ、ゆかりにとって…」
渡された時には分からなかった。タケに謝ろうって決めた日、タケは学校に来なかった。

――もう、二度と来ることはなかった

その代わりに渡されたもの “紫色のネックレス”

「タケが、ゆかりと仲直りしたいって買ったんだ。でも、帰るときになって空襲に巻きこまれて……」

「……………」

「……………」

「……………」

何も聞こえない 私一人だけの世界に放り出されたようだ

遺品？ 何が？ このネックレス？ 誰の？ タケの？ そうだ、タケだ。 謝らなくちゃ。 ごめんなさいって。

そしてまた二人は元どおり。

今日の放課後には二人で服とか買ったりして、喫茶店でケーキとか食べて、週末には札幌にまでデートに行って……

それから、それから……

『タケは死んだんだ。』

アツシ君の一言は、死刑宣告のようだった。

タケの最後は即死だったそうだ。それがせめてもの救い。 苦しまずに逝ってくれた。

でも、死体は瓦礫に潰され目茶目茶になっていたそうだ。

だから決めた

“復讐”を

だから、後悔なんて……

後悔なんて……

無い筈だった。

「パン！」 「パンッ！」

消えちゃう……

私が消えちゃう……

死んじゃうんだ、これで

仇討ちなんてしなければよかった

“敵”を殺せば楽になれるって思い込んでた。

楽になんててなれる筈なのに
逆に辛くなるだけなのに……

タケ

会いたいよ……

会って一言言いたい。

『ごめんなさい』って。

END

（後書き）

< font size = 2 > ほんとはもっと長くしようと思ってましたが、ごちゃごちゃしそうだったのでちょっと短いSSになりました。

なんだかダークです。ゆかりちゃんといえばこのシーンが見所でしたから。

アニメ版最彼の中でも、このシーンはかなり印象が強いんですね。
< / font >

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1810a/>

迷走

2010年10月9日13時23分発行